

第12回「県民健康管理調査」検討委員会資料（平成25年8月20日開催）のうち、

資料3 県民健康管理調査「健康診査」の実施状況について

資料4 「こころの健康度・生活習慣に関する調査」について

資料5 「妊産婦に関する調査」実施状況について

を抜粋



県民健康管理調査「健康診査」の実施状況について

1 平成24年度の実施状況

◆平成24年度の実績

(単位：人、%)

区分等		平成23年度（確報値 平成24年9月11日）			平成24年度（確報値 平成25年7月5日）			
		年齢区分		合計	年齢区分		合計	
		15歳以下	16歳以上	全年齢	15歳以下	16歳以上	全年齢	
対象者数		27,819	182,370	210,189	27,077	184,910	211,987	
受診者数 (人)	15歳以下	県内小児健診	15,002	—	15,002	9,534	—	9,534
		県外小児健診	2,949	—	2,949	2,283	—	2,283
		県内、県外での重複受診者数	17	—	17	37	—	37
		小計 (重複受診者数を除く)	17,934	—	17,934	11,780	—	11,780
	16歳以上	県内市町村が実施する総合健診	—	8,798	8,798	—	23,907	23,907
		県内個別健診	—	—	—	—	6,692	6,692
		県内集団健診	—	41,949	41,949	—	10,603	10,603
		県外個別健診	—	3,815	3,815	—	3,057	3,057
		その他 ※1、※2	—	2,045	2,045	—	3,206	3,206
		県内、県外での重複受診者数	—	208	208	—	454	454
		小計 (重複受診者数を除く)	—	56,399	56,399	—	47,011	47,011
		合計 (重複受診者数を除く)	17,934	56,399	74,333	11,780	47,011	58,791
	受診率 (%)		64.5%	30.9%	35.4%	43.5%	25.4%	27.7%

※1 その他（県内で実施（市町村が都市医師会、医療機関へ委託したケース））

※2 その他（県外で実施（市町村が健診代行機関に委託したケース））

◆平成23年度の実施状況を踏まえた改善点

【県内に居住している対象者】

15歳以下の小児に関しては、平成23年度の実施期間が平成24年1月～3月の短期間であったこと、協力医療機関から冬の繁忙期以外での実施要望があったことを踏まえ、平成24年度は、平成24年7月～12月までの約6ヶ月間で実施した。

16歳以上に関しては、対象市町村が行う特定健康診査・総合健診での上乘せ健診とその後の集団健診という体制は維持した上で、県内医療機関での個別健診でも受診できるようにして、受診希望者の選択の幅を広げ、利便性の向上を図った。また、上乘せ健診も伊達市を除く12市町村（平成23年度は9町村）で実施した。

【県外に避難している対象者】

県外の医療機関での受診期間も平成23年度の実施期間が短期であったことを踏まえ、平成24年8月には受診案内を送付し、平成24年9月～平成25年2月末までの受診可能期間を確保して実施した。受診可能な医療機関も、平成23年度以上の医療機関に協力をいただいている。

◆調査の受診率

平成24年度の16歳以上の受診率は25.4%で平成23年度の30.9%と比較すると、5.5ポイント減少している。同じく、15歳以下の受診率は43.5%で平成23年度の64.5%と比較すると、21ポイント減少している。

## 2 平成25年度の実施状況

対象者：213,444人（15歳以下 26,474人、16歳以上 186,970人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
県内	15歳以下				県内指定医療機関での小児健診 7月1日に案内発送済								
	16歳以上			市町村が実施する特定健診・総合健診での上乗せ健診 飯館村(5/17～) 田村市(5/27～) 葛尾村(6/2・6/3) 川俣町(6/19～) 南相馬市(7/8～) 広野町(7/18～) 川内村(9/2～) 浪江町(9/12～) 楢葉町(9/17～) 富岡町(9/30～) 大熊町(10/28～) 双葉町(11/11～)							集団健診 医療機関での個別健診		
県外	15歳以下				県外指定医療機関での小児健診 7月下旬から 順次案内を発送中								
	16歳以上				県外指定医療機関での健診								

### ◆平成25年度の実施状況

#### 【県内に居住している対象者】

15歳以下の小児に関しては、昨年度と同様に平成25年7月～12月までの約6ヶ月間で実施している。（協力医療機関数104施設。）

16歳以上に関しては、引き続き伊達市を除く12市町村において市町村が実施する特定健康診査・総合健診で追加項目を上乗せして同時に実施できるようにするとともに、集団健診や医療機関での個別健診の実施を予定している。受診者数は、途中経過であるが16歳以上が10,724人である。

#### 【県外に避難している対象者】

各都道府県で受診可能な医療機関を充実させるとともに、昨年度よりも早期に実施できるよう7月下旬より順次案内を発送し8月から実施予定である。また、多数の対象者が避難している地域に近接した医療機関に協力いただけるように努める。

### 3 今年度の新たな取組み

#### (1) 「小児健康診査」受診勧奨ポスターの作成

小児健康診査を実施する県内 104 の医療機関等に、掲示用のポスターを配付した。また、医療機関窓口用に受診案内のちらしを作成し、保護者の方への「小児健康診査」受診の呼びかけの強化を図った。

#### (2) 経年データを用いた健診結果の解析

飯舘村他 12 市町村において、住民の健康管理を行うことができるようにするため、震災前後の健診結果を比較し、震災等の生活習慣病等への影響の評価・解析を行っている。(4-(2))

#### (3) 受診勧奨（リマインダー）の実施

健康診査の効果的な広報を行うため、5 月に集団健診を実施した飯舘村と連携して、6 月に受診勧奨のお知らせを住民に配付した。

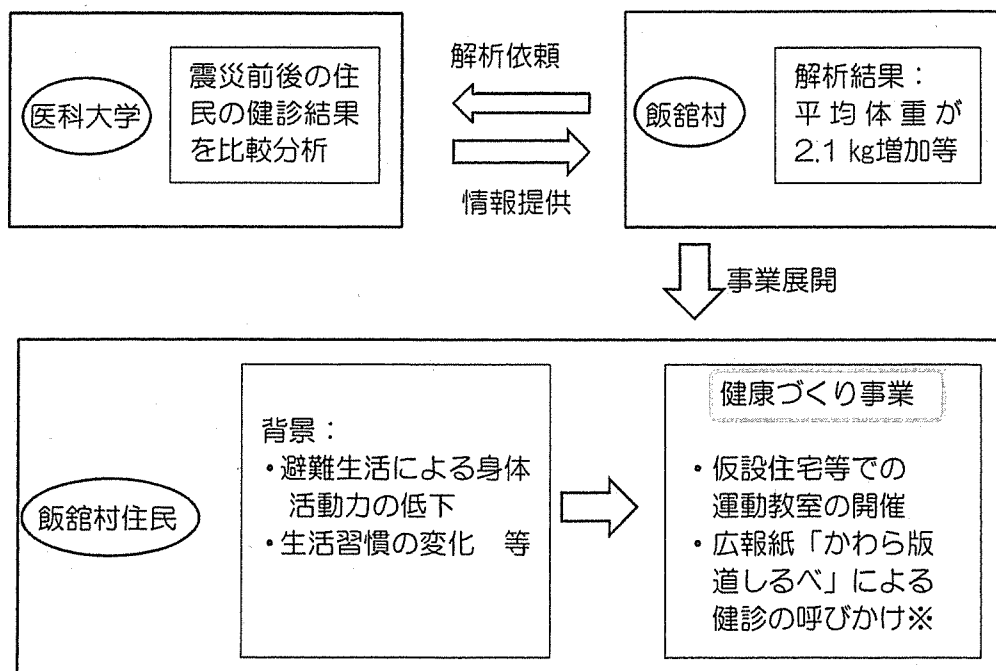
### 4 市町村との連携

#### (1) 健康診査結果の対象市町村へのフィードバック

県民の皆様の健康を長期にわたり見守り、必要と考えられるケアを適切に提供するには、健診の対象となる市町村の住民の健診結果をできるだけ早く健康維持や増進に役立てていく必要がある。このため、平成 24 年度健診結果については、速やかに対象市町村に情報提供していくこととする。

また、震災前の健診結果とのデータの比較検討も、対象自治体からの要請に応じ、震災前後の健診結果の比較解析（全 13 市町村で実施）に加え、市町村が必要とする解析を行う等、個別に対応を行っていく。

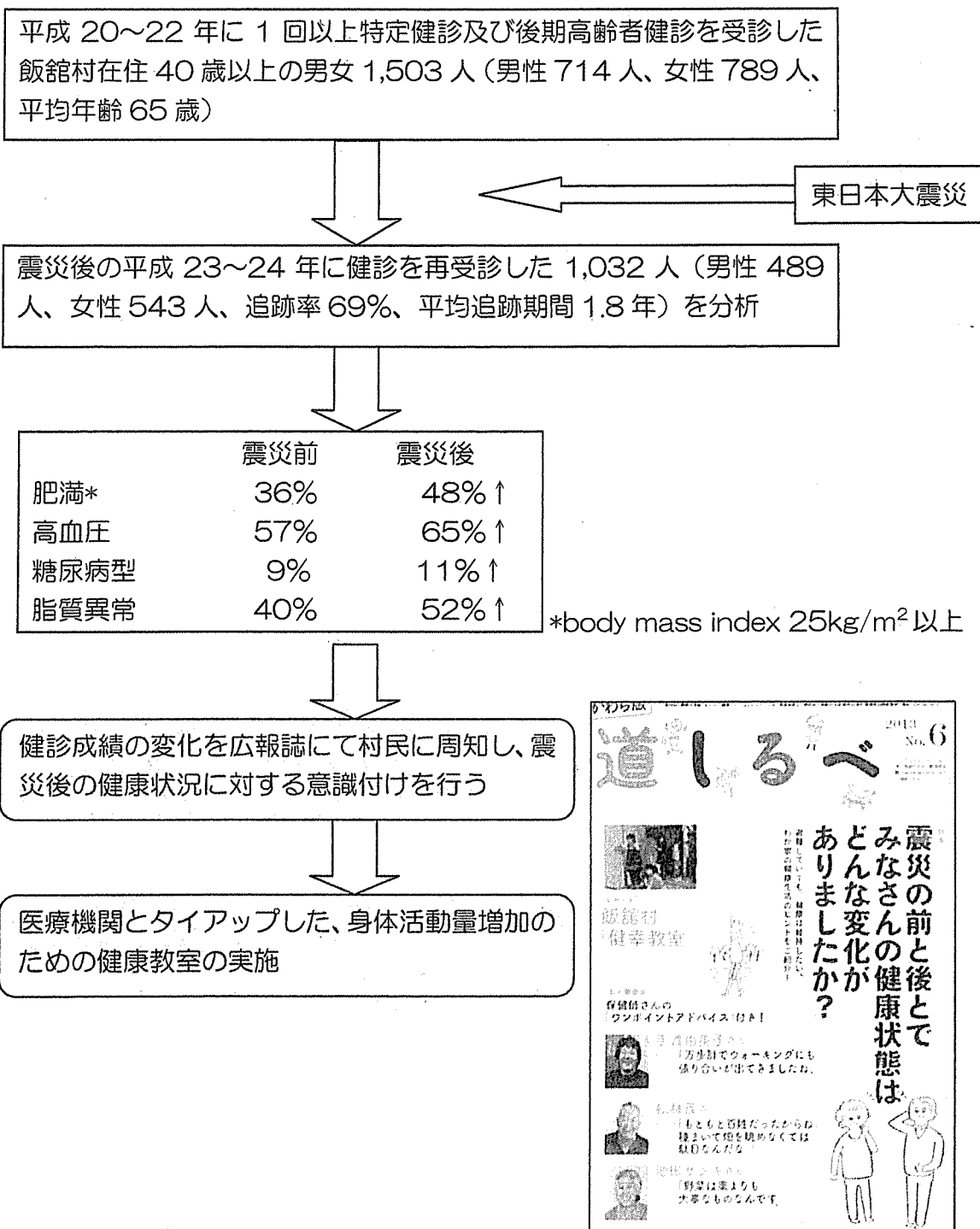
#### (2) 飯舘村の比較解析事例



※裏面参照

◆飯舘村における震災前後の健診結果の比較と保健事業への展開

【県健康管理センターの健診成績分析結果を飯舘村の健康施策に生かした流れ】



## 平成 23・24 年度 県民健康管理調査

## 「健康診査」結果解析

## (過去の特定健康診査・後期高齢者健康診査との比較)

平成 23・24 年度に避難区域等の市町村が実施した特定健康診査・後期高齢者健康診査において検査項目を上乗せして同時に県民健康管理調査「健康診査」を受診した方の健康診査結果を、避難区域等の市町村（田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、葛尾村、飯舘村）において平成 20～22 年度に行われた特定健康診査及び後期高齢者健康診査の結果と比較した。

平成 23 年度は 9 町村（広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）において、これらの市町村が実施した特定健康診査・後期高齢者健康診査において検査項目を上乗せして同時に県民健康管理調査を実施した。

平成 24 年度は 12 市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）において、これらの市町村が実施した特定健康診査・後期高齢者健康診査において検査項目を上乗せして同時に県民健康管理調査を実施した。

今回の比較は、国民健康保険の 40 歳以上の被保険者及び後期高齢者というほぼ同じカテゴリーに属する集団とはいえ、全く同じ母集団の比較ではないため、比較分析の結果はあくまで参考値である。

## 【対象者】

平成 20 年度	27,215 人	(男性 12,219 人、女性 14,996 人)
平成 21 年度	27,000 人	(男性 12,293 人、女性 14,707 人)
平成 22 年度	26,309 人	(男性 12,034 人、女性 14,275 人)
平成 23 年度	7,822 人	(男性 3,268 人、女性 4,554 人)
平成 24 年度	21,976 人	(男性 9,329 人、女性 12,647 人)

年齢は、平成 24 年度は平均 65.6 歳（男性 66.7 歳、女性 64.8 歳）、平成 23 年度は平均 64.3 歳（男性 65.6 歳、女性 63.4 歳）、平成 20～22 年度は 66.2～66.6 歳（男性 66.4～67.0 歳、女性 65.9～66.2 歳）であった。

男性の平均年齢は、平成 20～22 年度に比して平成 23 年度はやや低かったが、平成 24 年度は同等であった。女性の平均年齢は、平成 20～22 年度に比して平成 23・24 年度はやや低かった。

【結果】

1) 身長、体重

●身長

身長(cm) (男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	170cm以上	150cm以下
H20	12,219	66.4	161.9	11.8%	3.1%
H21	12,293	66.7	162.0	12.1%	3.2%
H22	12,033	67.0	162.3	13.0%	3.0%
H23	3,267	65.6	163.6	16.8%	2.0%
H24	9,329	66.7	163.2	15.9%	2.7%

身長(cm) (女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	160cm以上	140cm以下
H20	14,996	65.9	149.6	4.8%	6.4%
H21	14,707	66.1	149.7	5.3%	6.4%
H22	14,275	66.2	150.0	5.6%	5.8%
H23	4,554	63.4	151.5	9.6%	4.9%
H24	12,645	64.8	151.1	8.1%	4.9%

●体重

体重(kg) (男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	70kg以上	50kg以下
H20	12,219	66.4	62.0	19.3%	9.6%
H21	12,293	66.7	62.1	19.1%	9.5%
H22	12,034	67.0	62.2	19.6%	9.2%
H23	3,267	65.6	65.7	30.4%	4.8%
H24	9,329	66.7	64.7	27.0%	6.2%

体重(kg) (女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	65kg以上	45kg以下
H20	14,996	65.9	52.7	8.2%	17.3%
H21	14,707	66.1	52.5	7.7%	17.5%
H22	14,275	66.2	52.4	7.5%	17.8%
H23	4,554	63.4	54.5	12.4%	13.0%
H24	12,647	64.8	54.3	11.8%	14.3%

身長は、男性 170cm 以上の割合が平成 20～22 年度の 11.8～13.0%と比して平成 23 年度は 16.8%と高かった。また、平成 24 年度は 15.9%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性 160cm 以上の割合は平成 20～22 年度の 4.8～5.6%と比して平成 23 年度は 9.6%と高かった。また、平成 24 年度は 8.1%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。

体重は、男性 70kg 以上の割合は平成 20～22 年度の 19.1～19.6%と比して平成 23 年度は 30.4%と高かった。また、平成 24 年度は 27.0%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。(50kg 以下の割合は平成 20～22 年度の 9.2～9.6%と比して平成 23 年度は 4.8%と低くなっている。また、平成 24 年度は 6.2%と平成 23 年度と比してやや高くなっているが、平成 20～22 年度に比して低かった。)女性 65kg 以上の割合も平成 20～22 年度の 7.5～8.2%と比して平成 23 年度は 12.4%と高くなっている。また、平成 24 年度は 11.8%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。(45kg 以下の割合は平成 20～22 年度の 17.3～17.8%と比して平成 23 年度は 13.0%と低くなっている。平成 24 年度は 14.3%と平成 23 年度と比してやや高くなっているが、平成 20～22 年度に比して低かった。)



2) 腹囲、BMI

●腹囲

腹囲(cm)(男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	85cm以上
H20	9,492	66.4	84.8	49.0%
H21	9,501	66.7	84.9	48.7%
H22	9,247	67.0	85.0	49.0%
H23	2,588	65.6	86.9	59.3%
H24	7,393	63.3	86.5	57.0%

腹囲(cm)(女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90cm以上
H20	11,921	65.9	83.8	24.8%
H21	11,661	66.1	83.6	23.8%
H22	11,317	66.2	83.7	23.1%
H23	3,735	63.4	83.3	23.8%
H24	10,539	61.8	84.0	25.1%

●BMI

BMI (男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	≥ 25	< 18
H20	12,219	66.4	23.5	30.4%	2.0%
H21	12,333	66.7	23.5	29.6%	2.4%
H22	12,033	67.0	23.5	29.8%	2.5%
H23	3,267	65.6	24.5	41.9%	1.2%
H24	9,329	66.7	24.2	38.1%	1.5%

BMI (女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	≥ 25	< 18
H20	14,996	65.9	23.5	31.0%	3.3%
H21	14,707	66.1	23.4	29.9%	3.2%
H22	14,275	66.2	23.3	28.1%	3.6%
H23	4,554	63.4	23.7	34.0%	3.3%
H24	12,645	64.8	23.8	33.4%	3.3%

腹囲は、男性において 85cm 以上の割合は平成 20～22 年度の 48.7～49.0%と比して平成 23 年度は 59.3%と高くなっている。また、平成 24 年度は 57.0%と平成 23 年度と比してやや低くなっているが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性において 90 cm以上の割合は平成 20～22 年度の 23.1～24.8%と比して平成 23 年度は 23.8%と特に差はなかったが、平成 24 年度は 25.1%と平成 20～22 年度、平成 23 年度に比してやや高くなっている。

BMI は、男性で 25 以上の割合は平成 20～22 年度の 29.6～30.4%と比して平成 23 年度は 41.9%と高くなっている。また、平成 24 年度は 38.1%と平成 23 年度と比してやや低くなっているが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性においても 25 以上の割合は平成 20～22 年度の 28.1～31.0%と比して平成 23 年度は 34.0%とやや高くなっている。また、平成 24 年度は 33.4%と平成 23 年度と同等であり、平成 20～22 年度に比して高かった。

### 3) 血圧

#### ●収縮期血圧

収縮期血圧(mmHg)(男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
H20	12,219	66.4	133.3	33.8%
H21	12,293	66.7	132.9	32.6%
H22	12,034	67.0	133.2	33.2%
H23	3,267	65.6	134.3	35.9%
H24	9,328	66.7	131.2	29.3%

収縮期血圧(mmHg)(女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
H20	14,996	65.9	131.6	30.3%
H21	14,706	66.1	130.7	28.7%
H22	14,275	66.2	131.0	28.7%
H23	4,554	63.4	130.3	27.8%
H24	12,646	64.8	128.2	24.0%

#### ●拡張期血圧

拡張期血圧 (mmHg)(男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
H20	12,219	66.4	78.9	16.4%
H21	12,293	66.7	78.3	15.4%
H22	12,034	67.0	78.4	15.7%
H23	3,267	65.6	80.0	19.7%
H24	9,328	66.7	78.5	15.8%

拡張期血圧 (mmHg)(女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
H20	14,996	65.9	76.7	11.6%
H21	14,706	66.1	75.7	9.6%
H22	14,275	66.2	75.9	10.3%
H23	4,554	63.4	77.0	11.6%
H24	12,646	64.8	75.7	10.1%

男性の収縮期血圧 140mmHg 以上の割合は、平成 20～22 年度の 32.6～33.8%と比較して平成 23 年度は 35.9%と明らかな違いは見られなかったが、平成 24 年度は 29.3%と平成 20～22 年度や平成 23 年度に比してやや低くなっている。女性も平成 20～22 年度の 28.7～30.3%と比較して平成 23 年度は 27.8%と明らかな違いは見られなかったが、平成 24 年度は 24.0%と平成 20～22 年度や平成 23 年度に比してやや低くなっている。

男性において拡張期血圧 90mmHg 以上の割合は平成 20～22 年度の 15.4～16.4%と比して平成 23 年度は 19.7%とやや高くなっている。また、平成 24 年度は 15.8%と平成 23 年度と比してやや低くなり、平成 20～22 年度と同等であった。女性は平成 20～22 年度の 9.6%～11.6%と比較して平成 23 年度は 11.6%と明らかな違いは見られなかった。平成 24 年度も 10.1%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と同等であった。

#### 4) 糖代謝

##### ●空腹時血糖値

空腹時血糖値 (mg/dl) (男性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dl以上	130 mg/dl以上	160 mg/dl以上
H20	9,701	66.4	101.5	20.1%	6.9%	2.0%
H21	9,841	66.7	101.5	19.7%	6.9%	2.2%
H22	9,706	67.0	101.6	19.9%	6.8%	2.0%
H23	2800	65.6	107.5	28.2%	11.5%	4.6%
H24	8,056	66.5	104.5	24.2%	9.1%	2.9%

空腹時血糖値 (mg/dl) (女性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dl以上	130 mg/dl以上	160 mg/dl以上
H20	11,828	65.9	97.5	13.3%	4.0%	1.2%
H21	11,615	66.1	96.8	12.2%	3.7%	1.2%
H22	11,294	66.2	96.8	12.2%	3.6%	0.9%
H23	3935	63.4	100.1	15.8%	5.2%	2.1%
H24	10,802	64.6	98.5	13.9%	4.4%	1.2%

##### ●HbA1c

HbA1c (%) (JDS) (男性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.5%以上	7.0%以上	8.0%以上
H20	12,217	66.4	5.1	4.1%	2.4%	0.8%
H21	12,290	66.7	5.1	4.5%	2.6%	1.1%
H22	12,031	67.0	5.1	4.4%	2.4%	0.9%
H23	3,268	65.6	5.2	7.0%	4.3%	1.9%
H24	9,325	66.7	5.2	5.1%	2.8%	1.3%

HbA1c (%) (JDS) (女性)						
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.5%以上	7.0%以上	8.0%以上
H20	14,994	65.9	5.1	2.9%	1.7%	0.7%
H21	14,705	66.1	5.1	2.8%	1.6%	0.6%
H22	14,272	66.2	5.1	2.7%	1.6%	0.7%
H23	4,554	63.4	5.1	3.4%	2.2%	1.0%
H24	12,645	64.8	5.2	2.7%	1.5%	0.6%

##### ●尿糖

尿定性 (尿糖) (男性)			
	受診者数(人)	平均年齢	1+以上
H20	12,203	66.4	3.7%
H21	12,280	66.7	3.6%
H22	12,024	67.0	3.2%
H23	3,260	65.6	4.3%
H24	9,315	66.7	3.8%

尿定性 (尿糖) (女性)			
	受診者数(人)	平均年齢	1+以上
H20	14,984	65.9	1.2%
H21	14,698	66.1	1.0%
H22	14,248	66.2	0.9%
H23	4,531	63.4	1.6%
H24	12,618	64.8	0.9%

耐糖能障害を示唆する空腹時血糖値は、男性 110mg/dl 以上の割合が平成 20～22 年度の 19.7～20.1%と比して平成 23 年度は 28.2%と高かった。また、平成 24 年度は 24.2%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比して高かった。女性は平成 20～22 年度の 12.2～13.3%と比して平成 23 年度は 15.8%と高かった。また、平成 24 年度は 13.9%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。

血糖管理が不良とされる空腹時血糖は、男性 160mg/dl 以上の割合が、平成 20～22 年度の 2.0～2.2%と比して平成 23 年度は 4.6%と高かった。また、平成 24 年度は 2.9%と平成 23 年度と比して低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 0.9～1.2%と比して平成 23 年度は 2.1%と高かった。また、平成 24 年度は 1.2%と平成 23 年度と比して低く、平成 20～22 年度と同等であった。

日本糖尿病学会が示す糖尿病治療目標値 HbA1c (JDS 値)6.5%未満を達成していない割合は、男性が平成 20～22 年度の 4.1～4.5%と比して平成 23 年度は 7.0%と高かった。また、平成 24 年度は 5.1%と平成 23 年度と比して低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 2.7～2.9%と比して平成 23 年度は 3.4%とやや高かった。また、平成 24 年度は 2.7%と平成 23 年度と比して低く、平成 20～22 年度と同等であった。

また、糖尿病の血糖管理不良とされる HbA1c (JDS 値)8.0%以上は、男性の割合が平成 20～22 年度の 0.8～1.1%と比して平成 23 年度は 1.9%と高かった。また、平成 24 年度は 1.3%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度に比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 0.6～0.7%と比して平成 23 年度は 1.0%とやや高かった。また、平成 24 年度は 0.6%と平成 23 年度と比して低く、平成 20～22 年度と同等であった。

尿糖の陽性は、男性において、1+以上の割合は平成 20～22 年度の 3.2～3.7%と比して平成 23 年度は 4.3%と高かった。また、平成 24 年度は 3.8%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度と同等であった。女性においても、1+以上の割合は平成 20～22 年度の 0.9～1.2%と比して平成 23 年度は 1.6%と高かった。また、平成 24 年度は 0.9%と平成 23 年度と比して低かったが、平成 20～22 年度に比して同等であった。

5) 脂質代謝

●LDL-C

LDL-C (mg/dL) (男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
H20	12,217	66.4	116.4	45.5%	22.3%
H21	12,290	66.7	116.2	45.3%	21.5%
H22	12,031	67.0	115.0	43.2%	20.7%
H23	3,268	65.6	120.8	50.5%	26.6%
H24	9,325	66.7	116.7	45.4%	21.7%

LDL-C (mg/dL) (女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
H20	14,994	65.9	126.4	59.0%	33.4%
H21	14,705	66.1	125.4	58.1%	31.4%
H22	14,272	66.2	124.2	56.4%	30.2%
H23	4,554	63.4	128.0	58.7%	33.8%
H24	12,645	64.8	124.4	54.2%	29.0%

●中性脂肪

中性脂肪 (mg/dL) (男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
H20	12,217	66.4	118.1	21.1%	3.0%
H21	12,290	66.7	116.2	21.4%	2.9%
H22	12,031	67.0	116.1	20.6%	2.9%
H23	3,268	65.6	134.0	29.0%	4.5%
H24	9,325	66.7	122.3	24.1%	3.5%

中性脂肪 (mg/dL) (女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
H20	14,994	65.9	105.1	15.8%	1.2%
H21	14,705	66.1	103.4	14.7%	1.2%
H22	14,272	66.2	103.2	14.5%	1.1%
H23	4,554	63.4	109.0	17.1%	1.7%
H24	12,645	64.8	105.4	15.5%	1.3%

●HDL-C

HDL-C (mg/dL) (男性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
H20	12,217	66.4	56.2	9.6%
H21	12,290	66.7	57.0	9.1%
H22	12,031	67.0	55.7	10.4%
H23	3,268	65.6	54.3	13.3%
H24	9,325	66.7	53.9	13.3%

HDL-C (mg/dL) (女性)				
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
H20	14,994	65.9	61.8	3.1%
H21	14,705	66.1	63.0	3.0%
H22	14,272	66.2	61.6	3.4%
H23	4,554	63.4	61.7	4.2%
H24	12,645	64.8	60.2	4.6%

男性において、境界域高 LDL コレステロール血症(120mg/dl 以上)の割合は、平成 20～22 年度の 43.2～45.5%と比して平成 23 年度は 50.5%と若干高かった。また、平成 24 年度は 45.4%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。女性は平成 20～22 年度の 56.4～59.0%と比して平成 23 年度は 58.7%と同等であった。また、平成 24 年度は 54.2%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と比してやや低かった。

男性における高 LDL コレステロール血症(140mg/dl 以上)の割合も、平成 20～22 年度の 20.7～22.3%と比して平成 23 年度は 26.6%と若干高い傾向にある。また、平成 24 年度は 21.7%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。女性は平成 20～22 年度の 30.2%～33.4%と比して平成 23 年度は 33.8%と同程度であった。また、平成 24 年度は 29.0%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と比してやや低かった。

高中性脂肪血症の割合(150 mg/dl 以上)は、男性において、平成 20～22 年度は 20.6～21.4%であったが、平成 23 年度は 29.0%と高かった。また、平成 24 年度は 24.1%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 14.5～15.8%と比して平成 23 年度は 17.1%とやや高かった。また、平成 24 年度は 15.5%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。

高度な中性脂肪血症の割合(300mg/dl 以上)は、男性において、平成 20～22 年度は 2.9～3.0%と比して平成 23 年度は 4.5%と高かった。また、平成 24 年度は 3.5%と平成 23 年度と比してやや低かったが、平成 20～22 年度と比してやや高かった。女性は平成 20～22 年度の 1.1～1.2%と比して平成 23 年度は 1.7%とやや高かった。また、平成 24 年度は 1.3%と平成 23 年度と比してやや低く、平成 20～22 年度と同等であった。

低 HDL コレステロール血症(40mg/dl 未満)は、男性において、平成 20～22 年度の 9.1～10.4%と比して平成 23 年度は 13.3%と高かった。また、平成 24 年度は 13.3%と平成 23 年度と比して同等であり、平成 20～22 年度と比して高かった。女性は平成 20～22 年度の 3.0～3.4%と比して平成 23 年度は 4.2%と高かった。また、平成 24 年度は 4.6%と平成 20～22 年度や平成 23 年度と比して高かった。

6) 腎機能

●尿蛋白

尿定性 (尿蛋白)(男性)			
	受診者数(人)	平均年齢	(1+) 以上
H20	12,203	66.4	3.7%
H21	12,280	66.7	3.4%
H22	12,024	67.0	3.6%
H23	3,260	65.6	3.7%
H24	9,315	66.7	2.6%

尿定性 (尿蛋白)(女性)			
	受診者数(人)	平均年齢	(1+) 以上
H20	14,984	65.9	1.7%
H21	14,698	66.1	1.5%
H22	14,248	66.2	1.6%
H23	4,531	63.4	1.3%
H24	12,618	64.8	1.0%

糸球体腎炎等のスクリーニング指標として有用な尿蛋白の陽性の割合は、男性において平成20～22年度の3.4～3.7%に比して平成23年度は3.7%と大きな変化は認めなかった。また、平成24年度は2.6%と平成20～22年度、平成23年度と比してやや低かった。

女性において、平成20～22年度の1.5～1.7%に比して平成23年度は1.3%とほぼ同等で、平成24年度は1.0%と平成20～22年度、平成23年度と比してやや低かった。

7) 肝機能

●AST

AST (IU/l)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	12,217	66.4	27.7	24.5%	3.1%
H21	12,290	66.7	27.0	21.6%	2.8%
H22	12,031	67.0	26.5	20.9%	2.8%
H23	3,268	65.6	28.3	27.2%	5.2%
H24	9,325	66.7	28.2	25.7%	4.3%

AST (IU/l)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	14,994	65.9	24.6	13.0%	1.6%
H21	14,705	66.1	23.9	11.1%	1.4%
H22	14,272	66.2	23.7	11.3%	1.3%
H23	4,554	63.4	24.1	14.1%	2.8%
H24	12,645	64.8	24.5	13.8%	2.5%

●ALT

ALT (IU/l)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	12,217	66.4	23.8	17.7%	4.3%
H21	12,290	66.7	23.4	17.0%	4.0%
H22	12,031	67.0	22.8	16.3%	3.8%
H23	3,268	65.6	29.0	30.6%	11.0%
H24	9,325	66.7	26.9	25.0%	7.7%

ALT (IU/l)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/l以上	51 U/l以上
H20	14,994	65.9	19.4	8.8%	1.8%
H21	14,705	66.1	19.0	8.2%	1.8%
H22	14,272	66.2	18.6	8.1%	1.7%
H23	4,554	63.4	21.2	14.4%	4.4%
H24	12,645	64.8	20.7	12.1%	3.9%

●γ-GT

γ-GT (IU/l)(男性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/l以上	101 U/l以上
H20	12,217	66.4	46.8	23.7%	7.9%
H21	12,290	66.7	46.5	23.4%	7.5%
H22	12,031	67.0	46.2	23.1%	7.5%
H23	3,268	65.6	53.6	31.3%	10.7%
H24	9,325	66.7	51.5	28.9%	9.4%

γ-GT (IU/l)(女性)					
	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/l以上	101 U/l以上
H20	14,993	65.9	23.9	5.9%	1.1%
H21	14,705	66.1	23.6	5.5%	1.1%
H22	14,272	66.2	23.7	5.4%	1.1%
H23	4,554	63.4	27.3	9.6%	2.1%
H24	12,645	64.8	26.1	8.3%	2.0%



ASTは、男性において、31U/l以上の割合は平成20～22年度の20.9～24.5%と比して平成23年度は27.2%と若干高かった。また、平成24年度は25.7%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比してやや高かった。51U/l以上の割合も2.8～3.1%と比して5.2%と高かった。また、平成24年度は4.3%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比してやや高かった。女性においても、31U/l以上の割合は、平成20～22年度の11.1～13.0%と比して平成23年度は14.1%と若干高かった。また、平成24年度は13.8%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。51U/l以上の割合も平成20～22年度の1.3～1.6%と比して平成23年度は2.8%と高かった。また、平成24年度は2.5%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。

ALTは、男性において、31U/l以上の割合は平成20～22年度の16.3～17.7%と比して平成23年度は30.6%と高かった。また、平成24年度は25.0%と平成23年度と比して低かったが、平成20～22年度に比して高かった。51U/l以上の割合も3.8～4.3%と比して11.0%と高かった。また、平成24年度は7.7%と平成23年度と比して低かったが、平成20～22年度に比して高かった。女性においても、31U/l以上の割合は平成20～22年度の8.1～8.8%と比して平成23年度は14.4%と高かった。また、平成24年度は12.1%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。51U/l以上の割合も平成20～22年度の1.7～1.8%と比して平成23年度は4.4%と高かった。また、平成24年度は3.9%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。

$\gamma$ -GTは、男性において、51U/l以上の割合は平成20～22年度の23.1～23.7%と比して平成23年度は31.3%と高かった。また、平成24年度は28.9%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。101U/l以上の割合も平成20～22年度の7.5～7.9%と比して平成23年度は10.7%と高かった。また、平成24年度は9.4%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。女性においても、51U/l以上の割合は平成20～22年度の5.4～5.9%と比して平成23年度は9.6%と高かった。また、平成24年度は8.3%と平成23年度と比してやや低かったが、平成20～22年度に比して高かった。101U/l以上の割合も平成20～22年度の1.1%と比して平成23年度は2.1%と高かった。また、平成24年度は2.0%と平成23年度と比して同等であったが、平成20～22年度に比して高かった。

#### 【まとめ】

肥満の割合（腹囲、BMI）は、女性の腹囲を除き、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は低下したが、平成 20～22 年度に比較すると、依然高かった。

糖代謝異常の割合（空腹時血糖、HbA1c、尿糖）は、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は全般的に低下したが、平成 20～22 年度に比較して男性空腹時血糖、HbA1c 高値の割合が依然やや高かった。

脂質代謝異常（LDL-C、中性脂肪）は、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は全般的に低下したが、平成 20～22 年度に比較すると男性の中性脂肪高値の割合が依然やや高かった。

肝機能異常（AST、ALT、 $\gamma$ -GT）は、平成 23 年度に比較して平成 24 年度は全般的に低下したが、平成 20～22 年度に比較すると依然高かった。

このような変化の要因を考察すると、平成 23 年度は余儀なくされた避難生活による運動量の減少やアルコール多飲などを含む食習慣の変化、精神的ストレスや睡眠障害に伴う生活環境全般の変化などの可能性が推測されたが、平成 24 年度は生活環境全般がやや改善された可能性がある。

しかし、今回比較した平成 20～22 年度と平成 23・24 年度の受診者では、対象地域や受診者年齢層が異なっていることから、元々の母集団の相違の問題が存在するなど、多くの修飾要因が存在するため、このような解析では平成 20～22 年度と平成 23・24 年度との厳密な意味での比較はできない。

県民健康管理調査としては、「健康診査」は、避難区域等の住民の全年齢層を対象として実施しており、平成 23・24 年度に実施した「健康診査」の結果を基本として、今後、経年的な調査結果を蓄積することにより、生活習慣病を含めた様々な疾病についてのよりよい予防をするための体制整備に活用していきたい。

県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の実施状況について

1 平成 24 年度 質問紙調査の進捗状況（平成 25 年 7 月 31 日現在）

(1) 回答状況等

回答状況と回答率

区分	調査対象者	回答数	回答率
子ども	27,108	11,124	41.0%
一般	184,507	54,890	29.7%
合計	211,615	66,014	31.2%

(2) 回答結果（暫定）について

別紙「平成 24 年度県民健康管理調査『こころの健康度・生活習慣に関する調査』結果報告書（暫定版）」参照。

(3) 支援状況

① 電話による支援

回答内容から支援が必要と思われる方に対し、臨床心理士（4名）、保健師（2名）、看護師（2名）等が電話をかけ、こころの健康・生活習慣に関する問題について支援を行っている。

ア) 尺度による支援

区分	要支援者数※ <sub>1</sub>	要支援率※ <sub>1</sub>	対応数※ <sub>3</sub>	対応率	支援済数※ <sub>4</sub>	支援済率
子ども	556	5.0%	556	100.0%	495	88.9%
一般	4,120	7.5%	4,117	99.9%	3,511	85.2%
合計	4,677	7.1%	4,673	99.9%	4,006	85.6%

※<sub>1</sub> 要支援者

子ども：SDQ（子どもの情緒と行動について）が20点以上に該当する方。

一般：K6（全般的な精神健康状態）が17点以上またはPCL（トラウマ反応）が61点以上に該当する方。

要支援者数：7月31日までに支援が必要と判断された方。

※<sub>2</sub> 要支援率

回答がありデータ入力終了したもの（子ども 11,103 件、一般 54,872 件、合計 65,975 件）のうち、7月31日までに支援が必要と判断された方の占める割合。

※<sub>3</sub> 対応数

内容を確認し、一度は電話をかけているもの（不在を含む）と、調査票を確認した結果、電話番号の記載がないことが分かっているもの。

※<sub>4</sub> 支援済数

支援が終了しているもの。文書による支援（次項「②文書による支援」参照）により、対応が完了しているものも含む。

イ) 尺度以外の項目による支援

区分	要支援者数※ <sub>5</sub>	要支援率※ <sub>2</sub>	対応数※ <sub>3</sub>	対応率	支援済数※ <sub>4</sub>	支援済率
子ども	112	1.0%	88	78.6%	65	58.0%
一般	1,694	3.1%	713	42.1%	541	31.9%
合計	1,806	2.7%	801	44.4%	606	33.6%

※<sub>2</sub>～※<sub>4</sub> 前頁参照

※<sub>5</sub> 要支援者

子ども：自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された方。

一般：高血圧または糖尿病の既往歴があり、通院をしていない、と回答された方の中で、BMI（調査票内の身長及び体重から算出）が30以上かつ震災後の体重増加が3kg以上の方。

精神疾患の既往歴があり、通院をしていない、と回答された方。

自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された方。

要支援者数：7月31日までに支援が必要と判断された方。

② 文書による支援

電話番号の記載がない方や不在が続いている方については、順次文書をお送りし、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルをご案内するとともに、調査票記入時からの体調の変化について、返信用はがきにてお知らせいただき、電話相談を希望される方等に対し、電話による支援を実施している。

③ 市町村等との連携による支援

継続的な支援が必要と判断された方の状況等を、市町村と共有している。継続支援については、各市町村が判断し、必要に応じてふくしま心のケアセンターとも連携している。市町村への申し送り件数：40件

④ その他支援

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルへ、直接お電話をいただいた場合も、相談をお受けしている。

問合せによる支援：12件

(4) 支援に関する今後の方針

① SDQ、K6、PCLの先行研究における基準値を超え、上記要支援者に該当しない方への支援を、文書による支援を中心に進める。→8月中に文書送付予定。

② 尺度以外の項目において下記の基準に該当する方（ただし、上記電話支援対象者に該当する方は除く）への支援を、文書による支援を中心に進める。→8月中に文書送付予定。  
支援基準：必要な医療機関を受診されていない方。

睡眠の質に満足しておらず日中に気が滅入ったり活動量が低下したりする方の中で、医療受診をしていない方。

CAGE（飲酒に関する質問4項目）で2項目以上に該当する方。

## 2 平成24年度 面接調査（一般）の結果について

こころと生活習慣に関するよりよい支援やサポート体制を構築するため、避難区域等の住民のうち、仮設住宅（二本松市安達運動場仮設住宅及び南相馬市原町区牛越仮設住宅）の住民126名、H23年度調査票回答者23名、及び精神科医療機関受診者15名に対し面接調査を実施した。

その結果、現在の電話支援基準（K6：17以上またはPCL：61以上）についての妥当性が確認されるとともに、健康や生活上の困難・不安に対する背景や今後の対策が明らかになった。

## 3 平成25年度調査実施計画

### （1）目的

平成23年3月11日発生の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷（トラウマ）を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、福島県では「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施している（平成23年度から質問紙調査、平成24年度から面接調査を実施）。

その結果、SDQ（子どもの情緒と行動）、一般のK6（全般精神健康度）及びPCL（トラウマ症状）において、それぞれの先行研究と比較したところ、高い値が示された。

また、生活習慣においても、主観的健康感、睡眠及び慢性的な運動不足などで問題を抱えている方が多数いることが示された。

そのため、それらの悩みを抱える方々の一助として、専門家（臨床心理士、保健師、看護師等）による電話支援や文書支援等を継続して行っている。

今年度においても、SDQ、K6、PCL及び生活習慣の推移を見守り、継続して支援を行うため、質問紙調査及び面接調査を実施し、支援が必要な方々に対する具体的なサービスにつながる支援内容を明確にし、適切なケアを提供する。

### （2）質問紙調査について

- ① 対象者：避難区域等（平成23年度調査票送付時）の住民（約21万人）
- ② 調査方法：調査票（自記式または保護者回答）を郵送。

③ 調査区分：

区分	対象者	回答方式
一般	平成10年4月1日以前に生まれた方	自記式
中学生	平成10年4月2日から 平成13年4月1日までに生まれた方	保護者回答 (一部自記式)
小学生	平成13年4月2日から 平成19年4月1日までに生まれた方	保護者回答
4歳～6歳	平成19年4月2日から 平成22年4月1日までに生まれた方	保護者回答
0歳～3歳	平成22年4月2日から 平成25年4月1日までに生まれた方	保護者回答

④ 主な調査項目

- ・ 現在のところとからだの健康状態について
- ・ 生活習慣について（食生活、睡眠、喫煙、運動など）
- ・ 最近の行動について
- ・ 現在の生活状況、人とのつながりについて（「一般」）など

⑤ 発送時期：平成26年1月下旬より順次発送予定。

⑥ 調査後の対応

- ア) 回答内容を、医科大学の医師等が評価・分析する。こころの健康及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方には、臨床心理士や保健師・看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話支援等を行う。
- イ) 電話支援等により、医師の診察が必要と判断された場合は、県内医療機関の「登録医師（※次項「4 登録医師」参照）」を紹介する。また、継続的な支援が必要な場合には、避難元の市町村と連携し、必要な支援を検討・提供する。その際、訪問によるこころのケアが必要である、と考えられる場合には、「ふくしま心のケアセンター」とも連携する。
- ウ) 登録医師の判断により、さらに専門家によるこころのケアが必要と判断された場合には、医科大学等（通常の診療行為）で対応する。具体的には、小児においては「こどもこころ診療センター」、それ以外は「心身医療科」で対応する。
- エ) こころの健康支援チームが放射線に関する相談を受け、当該専門医師等の対応が必要と判断された場合には、医科大学の教員による「放射線健康相談チーム」において対応する。また、放射線の影響による健康相談等のうち、直接診察が必要な場合には、専門医師等による対応を検討する。

(3) 面接調査（一般）について

① 対象者：

避難区域等に指定された地域（平成 23 年度調査票送付時）の住民のうち、平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」回答者（約 30 名）及び精神科医療機関受診者（約 20 名）。

② 調査方法：

医師、臨床心理士及び保健師等による面接調査とし、生活上の不安感・困難感や必要な支援へのニーズについても聞き取りを行う。また、対象者の年齢区分に応じた適切な質問項目及び方法になるよう配慮する。

③ 調査時期：平成 25 年 10 月から 12 月まで。

④ 調査時の留意点

- ・ 医師、臨床心理士、保健師等による健康相談も合わせて実施し、対象者の健康上の不安の解消に努める。
- ・ 市町村、福島県保健福祉事務所、ふくしま心のケアセンターの協力を得ながら実施し、潜在的な要支援者に対する地域における支援を進める。

(4) スケジュール

実施事項		年月		H25		H26		
		10月	11月	10月~12月	1月	2月	3月	
質問紙調査	調査票の印刷・発送				■			
	調査票の回収・データ入力						■	■
面接調査	実査			■				
	評価・分析						■	■
相談・支援							■	■

## 4 登録医師

(1) 定義

こころの健康度・生活習慣に関する調査等の結果、精神科・小児科等の医師による診察が必要だと判断された場合に、その診療にあたる医師。

(2) 登録に必要な条件

医科大学が主催、または認定する講習会等を受講していること。

(3) 登録数（平成 25 年 7 月 31 日現在）

145 名（84 医療機関）





## 平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果暫定版概要

### 1. 目 的

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の結果を踏まえ、引き続き質問紙による調査を実施し、「見守っている」、「支援している」という強いメッセージを継続的に発するとともに、状況の変化やその要因を把握することにより、さらなる支援につなげることを目的として平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施した。

### 2. 対 象

平成 24 年度の対象は、平成 23 年 3 月 11 日時点で国が指定する避難区域等の住民及び平成 24 年 4 月 1 日までに生まれた方であり、具体的には、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点関係地区)の市町村に住民登録があった方、211,615 人を対象とした。

0 歳～3 歳用	:平成 21 年 4 月 2 日から平成 24 年 4 月 1 日までに生まれた方	4,625 名
4 歳～6 歳用	:平成 18 年 4 月 2 日から平成 21 年 4 月 1 日までに生まれた方	5,047 名
小学生用	:平成 12 年 4 月 2 日から平成 18 年 4 月 1 日までに生まれた方	11,413 名
中学生用	:平成 9 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日までに生まれた方	6,023 名
一 般 用	:平成 9 年 4 月 1 日以前に生まれた方	184,507 名

### 3. 方 法

上記対象に対して、上記区分に従い、調査票(自記式または保護者回答)を郵送した。

### 4. 集計対象

平成 25 年 2 月 7 日から平成 25 年 2 月 28 日までに回答し、平成 25 年 7 月 19 日までにエントリー入力を終了したデータ 52,116 件。

### 5. 結 果

暫定版において集計対象とした有効回答数(有効回答率)は、0 歳～3 歳用が 1,804 人(39.0%)、4 歳～6 歳用が 1,905 人(37.7%)、小学生用が 3,974 人(34.8%)、中学生用が 1,796 人(29.8%)、一般用が 39,495 人(21.4%)であった。

調査票ごとに、各項目について結果を集計した。集計結果は、結果報告書のとおりである。なお、各項目に欠損値があるため、合計は上記有効回答数と一致しない場合がある。また、この集計の数値は暫定値であるため、今後報告する確定版とは数値が異なる可能性がある。

### 6. 平成 24 年度調査の集計 暫定値のまとめ

- ・ 子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ)について、年齢が低くなるほど、基準点以上(16 点以上)の割合が高くなる傾向がみられた。いずれの年齢層においても女兒・女子(4 歳～6 歳: 14.5%、小学生: 13.2%、中学生: 12.2%)よりも男児・男子(4 歳～6 歳: 18.8%、小学生: 18.3%、中学生: 13.4%)の方が、基準点以上の割合が高い傾向がみられた。
- ・ 全般的な精神健康状態(K6)、トラウマ反応(PCL)について、年齢が高くなるほど、基準点以上(K6:13 点以上、PCL:44 点以上)の割合が高くなる傾向がみられた(K6: 10 代 7.9%→70 代以上 14.1%、PCL: 10 代 6.5%→70 代以上 27.7%)。また、男性(K6: 10.0%、PCL: 16.6%)よりも女性(K6: 13.5%、PCL: 19.6%)の方が、基準点以上の割合が高い傾向がみられた。



平成 24 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

結果報告書

(暫定版)



【 目 次 】

平成 24 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」  
調査票別集計結果

0 歳～3 歳用 .....	1
4 歳～6 歳用 .....	4
小 学 生 用 .....	8
中 学 生 用 .....	12
一 般 用 .....	16

平成 24 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」  
調査票別資料

0 歳～3 歳用 .....	30
4 歳～6 歳用 .....	31
小 学 生 用 .....	32
中 学 生 用 .....	33
一 般 用 .....	34



## 平成24年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（0歳～3歳用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用①)の対象4,625人のうち、有効回答は1,804人(39.0%)であった。内訳は、男児876人(48.6%)、女児928人(51.4%)で、平均年齢は2.0歳であった。

現住所は、県内1,194人(66.2%)、県外610人(33.8%)であった。

### 1. お子様の健康状態について（問1）

健康状態は、「きわめて良好」が487人(27.3%)、「良好」が745人(41.7%)、「普通」が526人(29.5%)、「悪い」が25人(1.4%)、「きわめて悪い」が1人(0.1%)であった。

### 2. お子様の現在の身長と体重について（問2）

身長は、平均で0歳(平成25年4月1日時点)が77.9cm、1歳が87.4cm、2歳が94.8cmであった。体重は、平均で0歳が10.2kg、1歳が12.5kg、2歳が14.5kgであった。

男児の身長・体重の平均は、0歳79.1cm・10.6kg、1歳88.0cm・12.8kg、2歳95.5cm・14.8kgであった。女児の身長・体重の平均は、0歳76.8cm・9.8kg、1歳86.8cm・12.2kg、2歳94.3cm・14.2kgであった。

### 3. 治療中の病気について（問3）

治療中の病気は、「ない」が1,204人(67.9%)、「ある」が570人(32.1%)であった。

「ある」と回答した人の内訳は、表1のとおりであった。

### 4. 入院の経験について（問4）

入院の経験は、「ない」が1,369人(76.7%)、「ある」が417人(23.3%)であった。

「ある」と回答した人の内訳(複数回答)は、表2のとおりであった。

表1 治療中の病気の内訳

病名	人数
喘息	84
アレルギー性鼻炎	38
アトピー性皮膚炎	84
上記以外のアレルギー性疾患	25
風邪	225
インフルエンザ	27
中耳炎	73
副鼻腔炎	9
歯科疾患	58
てんかん	4
ADHD	2
その他	68

表2 入院の経験の内訳

病名	人数
喘息	34
肺炎	93
マイコプラズマ肺炎	46
RSウイルス感染症	93
風邪	36
気管支炎	57
インフルエンザ	18
胃腸炎	43
ロタウイルス感染症	40
熱性けいれん	43
川崎病	13
鼠径ヘルニア	11
その他	71

## 5. 検査の経験について (問5)

- 1) CT検査の経験は、「ない」が1,688人(93.8%)、「ある」が83人(4.6%)、「わからない」が29人(1.6%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が1,523人(85.5%)、「ある」が179人(10.1%)、「わからない」が78人(4.4%)であった。  
「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が150人、「血管造影」が6人、「核医学検査」が2人であった。

## 6. 病気の治療のための放射線療法の経験について (問6)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が1,766人(98.3%)、「ある」が6人(0.3%)、「わからない」が26人(1.4%)であった。

## 7. 睡眠時間と昼寝の有無について (問7)

- 1) 就寝時刻は、平均で午後9時9分であり、起床時刻は午前7時10分であった。睡眠時間は、平均で10時間1分であった。
- 2) 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が234人(13.1%)、「はい」が1,547人(86.9%)であった。昼寝時間は、平均で1時間54分であった。

## 8. 普段の運動量について (問8)

運動(普段、運動をどのくらいしていますか(平成25年2月1日時点で2歳以上))は、「ほとんど毎日している」が339人(28.9%)、「週に2～4回している」が350人(29.8%)、「週1回程度している」が160人(13.6%)、「ほとんどしていない」が325人(27.7%)であった。

## 9. 食生活について (問9)

- 1) 母乳(お子様は母乳を飲んでいきますか)は、「はい」が228人(13.4%)、「いいえ」が1,478人(86.6%)であった。
- 2) 食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(平成25年2月1日時点で1歳以上)は、表3(次頁)のとおりであった。

## 10. 育児について (問10)

育児(育児に自信がもてないことがありますか?)は、「はい」が259人(14.4%)、「いいえ」が807人(44.9%)、「何ともいえない」が733人(40.7%)であった。



表3 1歳～3歳児の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
ごはん		3 (0.2%)	1 (0.1%)	11 (0.6%)	52 (3.0%)	152 (8.8%)	1,513 (87.3%)	1,732
パン		26 (1.5%)	233 (13.5%)	605 (35.1%)	435 (25.2%)	188 (10.9%)	238 (13.8%)	1,725
魚料理		22 (1.3%)	180 (10.5%)	769 (44.8%)	617 (36.0%)	86 (5.0%)	42 (2.4%)	1,716
肉類	とり肉	58 (3.4%)	339 (19.7%)	912 (52.9%)	378 (22.0%)	26 (1.5%)	9 (0.5%)	1,722
	牛肉、豚肉	86 (5.0%)	215 (12.5%)	783 (45.4%)	542 (31.4%)	77 (4.5%)	21 (1.2%)	1,724
	ハム、ソーセージ	138 (8.1%)	286 (16.8%)	702 (41.4%)	442 (26.0%)	93 (5.5%)	38 (2.2%)	1,699
野菜	緑の葉の野菜	136 (7.9%)	270 (15.7%)	531 (30.7%)	478 (27.7%)	177 (10.3%)	133 (7.7%)	1,725
	赤や黄色の野菜	45 (2.6%)	117 (6.8%)	434 (25.1%)	622 (35.9%)	284 (16.4%)	228 (13.2%)	1,730
	淡色野菜	46 (2.7%)	144 (8.3%)	409 (23.7%)	634 (36.8%)	292 (16.9%)	200 (11.6%)	1,725
	野菜ジュース	571 (33.2%)	456 (26.4%)	297 (17.2%)	195 (11.3%)	76 (4.4%)	130 (7.5%)	1,725
果物	くだもの	64 (3.7%)	145 (8.4%)	326 (18.9%)	466 (27.0%)	259 (15.0%)	466 (27.0%)	1,726
	果物ジュース	290 (16.8%)	393 (22.9%)	331 (19.2%)	311 (18.1%)	159 (9.2%)	238 (13.8%)	1,722
大豆	納豆	229 (13.2%)	300 (17.3%)	567 (32.7%)	386 (22.3%)	157 (9.1%)	93 (5.4%)	1,732
	味噌汁	49 (2.8%)	104 (6.0%)	204 (11.8%)	370 (21.4%)	343 (19.8%)	661 (38.2%)	1,731
	とうふ料理	66 (3.8%)	277 (16.0%)	607 (35.0%)	500 (28.9%)	186 (10.7%)	97 (5.6%)	1,733
	煮豆料理	662 (38.4%)	689 (40.0%)	267 (15.5%)	74 (4.3%)	23 (1.3%)	9 (0.5%)	1,724
牛乳		313 (18.1%)	172 (10.0%)	245 (14.2%)	257 (14.9%)	157 (9.1%)	583 (33.7%)	1,727
豆乳		1,356 (78.6%)	214 (12.4%)	84 (4.9%)	41 (2.4%)	14 (0.8%)	16 (0.9%)	1,725
ヨーグルト、乳酸菌飲料		61 (3.5%)	150 (8.7%)	375 (21.7%)	443 (25.6%)	230 (13.3%)	472 (27.2%)	1,731
朝食		7 (0.4%)	4 (0.2%)	14 (0.8%)	53 (3.1%)	61 (3.5%)	1,588 (92.0%)	1,727

## 平成24年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（4歳～6歳用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用①)の対象5,047人のうち、有効回答は1,905人(37.7%)であった。内訳は、男児963人(50.6%)、女児942人(49.4%)で、平均年齢は4.8歳であった。

現住所は、県内1,316人(69.1%)、県外589人(30.9%)であった。

## 1. お子様の健康状態について（問1）

健康状態は、「きわめて良好」が409人(21.7%)、「良好」が816人(43.2%)、「普通」が631人(33.4%)、「悪い」が32人(1.7%)、「きわめて悪い」が0人(0.0%)であった。

## 2. お子様の現在の身長と体重について（問2）

身長は、平均で3歳(平成24年4月1日時点)が102.1cm、4歳が108.8cm、5歳が115.0cmであった。体重は、平均で3歳が16.5kg、4歳が18.6kg、5歳が20.8kgであった。

男児の身長・体重の平均は、3歳102.7cm・16.8kg、4歳109.6cm・19.0kg、5歳115.4cm・21.2kgであった。女児の身長・体重の平均は、3歳101.6cm・16.3kg、4歳107.9cm・18.2kg、5歳114.7cm・20.6kgであった。

## 3. 治療中の病気について（問3）

治療中の病気は、「ない」が1,137人(61.1%)、「ある」が723人(38.9%)であった。

「ある」と回答した人の内訳は、表4のとおりであった。

## 4. 入院の経験について（問4）

入院の経験は、「ない」が1,335人(70.9%)、「ある」が548人(29.1%)であった。

「ある」と回答した人の内訳は、表5のとおりであった。

表4 治療中の病気の内訳

病名	人数
喘息	127
アレルギー性鼻炎	139
アトピー性皮膚炎	111
上記以外のアレルギー性疾患	22
風邪	208
インフルエンザ	30
中耳炎	58
副鼻腔炎	49
歯科疾患	147
てんかん	10
ADHD	5
その他	56

表5 入院の経験の内訳

病名	人数
喘息	73
肺炎	169
マイコプラズマ肺炎	88
RSウイルス感染症	95
風邪	31
気管支炎	68
インフルエンザ	30
胃腸炎	54
ロタウイルス感染症	39
熱性けいれん	52
川崎病	15
鼠径ヘルニア	27
その他	83

### 5. 検査の経験について（問 5）

- 1) CT 検査の経験は、「ない」が 1,711 人 (90.2%)、「ある」が 134 人 (7.1%)、「わからない」が 51 人 (2.7%) であった。
- 2) その他、X 線を使った検査の経験は、「ない」が 1,448 人 (77.0%)、「ある」が 313 人 (16.7%)、「わからない」が 118 人 (6.3%) であった。  
「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が 271 人、「血管造影」が 14 人、「核医学検査」が 3 人であった。

### 6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 1,838 人 (97.0%)、「ある」が 16 人 (0.8%)、「わからない」が 41 人 (2.2%) であった。

### 7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問 7）

- 1) 就寝時刻は、平均で午後 9 時 7 分であり、起床時刻は午前 6 時 51 分であった。睡眠時間は、平均で 9 時間 45 分であった。
- 2) 昼寝の有無（お子様はお昼寝をしますか）は、「いいえ」が 1,167 人 (61.8%)、「はい」が 721 人 (38.2%) であった。昼寝時間は、平均で 1 時間 33 分であった。

### 8. 普段の運動量について（問 8）

運動（普段、運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が 729 人 (38.6%)、「週に 2～4 回している」が 605 人 (32.1%)、「週 1 回程度している」が 267 人 (14.2%)、「ほとんどしていない」が 285 人 (15.1%) であった。

## 9. 食生活について (問9)

食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度は、表6のとおりであった。

表6 の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
ごはん		0 (0.0%)	3 (0.2%)	9 (0.5%)	62 (3.3%)	181 (9.5%)	1,645 (86.5%)	1,900
パン		20 (1.1%)	304 (16.1%)	724 (38.2%)	463 (24.5%)	176 (9.3%)	204 (10.8%)	1,891
魚料理		18 (1.0%)	199 (10.6%)	904 (48.1%)	639 (34.0%)	89 (4.7%)	30 (1.6%)	1,879
肉類	とり肉	24 (1.3%)	366 (19.5%)	1,081 (57.6%)	366 (19.5%)	34 (1.8%)	6 (0.3%)	1,877
	牛肉、豚肉	22 (1.2%)	154 (8.2%)	903 (47.9%)	696 (37.0%)	87 (4.6%)	21 (1.1%)	1,883
	ハム、ソーセージ	24 (1.3%)	258 (13.8%)	817 (43.6%)	601 (32.1%)	112 (6.0%)	59 (3.2%)	1,871
野菜	緑の葉の野菜	123 (6.5%)	267 (14.2%)	651 (34.5%)	534 (28.3%)	182 (9.7%)	129 (6.8%)	1,886
	赤や黄色の野菜	41 (2.2%)	165 (8.7%)	579 (30.7%)	671 (35.5%)	238 (12.6%)	195 (10.3%)	1,889
	淡色野菜	57 (3.0%)	132 (7.0%)	523 (27.8%)	705 (37.6%)	279 (14.8%)	185 (9.8%)	1,881
	野菜ジュース	790 (42.0%)	552 (29.4%)	282 (15.0%)	129 (6.9%)	58 (3.1%)	67 (3.6%)	1,878
果物	くだもの	45 (2.4%)	171 (9.1%)	427 (22.6%)	524 (27.7%)	291 (15.4%)	431 (22.8%)	1,889
	果物ジュース	377 (20.0%)	542 (28.7%)	439 (23.3%)	286 (15.2%)	107 (5.7%)	134 (7.1%)	1,885
大豆	納豆	202 (10.7%)	487 (25.8%)	751 (39.6%)	325 (17.2%)	88 (4.7%)	38 (2.0%)	1,891
	味噌汁	37 (2.0%)	92 (4.9%)	254 (13.4%)	431 (22.8%)	341 (18.1%)	734 (38.8%)	1,889
	とうふ料理	75 (4.0%)	380 (20.1%)	735 (38.8%)	499 (26.4%)	128 (6.8%)	73 (3.9%)	1,890
	煮豆料理	771 (41.0%)	798 (42.4%)	244 (13.0%)	49 (2.6%)	14 (0.7%)	6 (0.3%)	1,882
牛乳		91 (4.8%)	115 (6.1%)	218 (11.5%)	279 (14.8%)	286 (15.1%)	900 (47.7%)	1,889
豆乳		1,499 (79.6%)	267 (14.2%)	64 (3.4%)	31 (1.6%)	11 (0.6%)	11 (0.6%)	1,883
ヨーグルト、乳酸菌飲料		37 (2.0%)	185 (9.8%)	454 (24.0%)	529 (27.8%)	257 (13.6%)	433 (22.8%)	1,895
朝食		6 (0.3%)	2 (0.1%)	14 (0.7%)	27 (1.4%)	50 (2.6%)	1,792 (94.9%)	1,891

## 10. 子どもの情緒と行動について（問9）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答1,898人のうち、16点<sup>※1</sup>以上が316人(16.6%)、20点<sup>※2</sup>以上が116人(6.1%)であった(図1)。平均総合得点は10.2点であった。

男児では有効回答957人のうち、16点以上が180人(18.8%)、20点以上が69人(7.2%)であり、女児では有効回答941人のうち、16点以上が136人(14.5%)、20点以上が47人(5.0%)であった(図2)。平均総合得点は男児では10.8点、女児では9.7点であった。

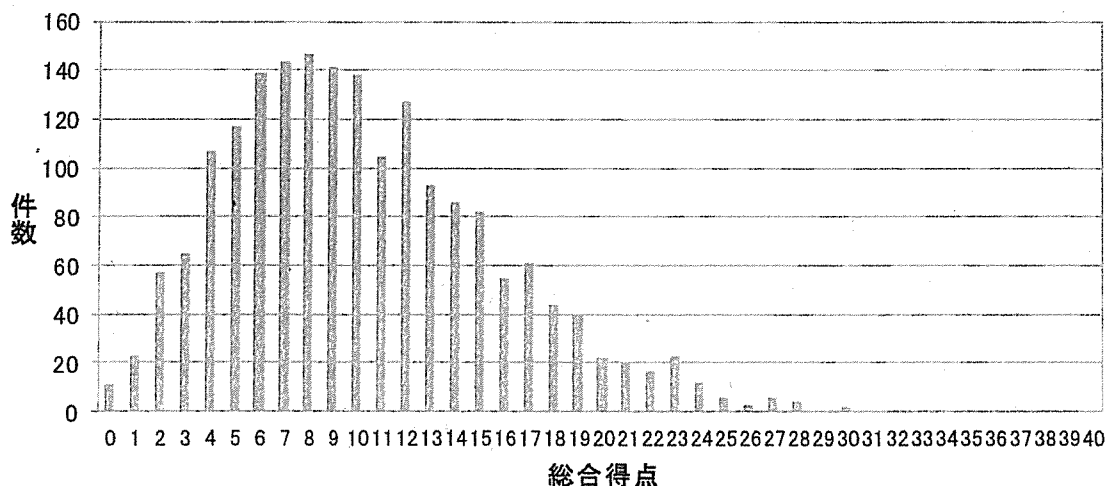


図1 4歳～6歳の子どもの情緒と行動(SDQ): 全体

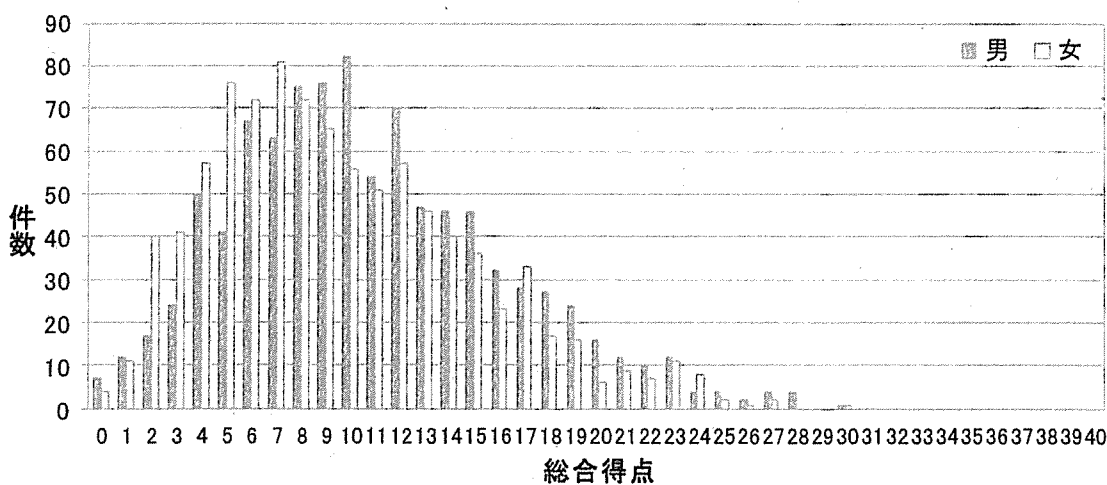


図2 4歳～6歳の子どもの情緒と行動(SDQ): 男女別

※1 16点: 先行研究で示されている基準

※2 20点: 支援を行うために設けた基準

## 平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（小学生用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(小学生用)の対象 11,413 人のうち、有効回答は 3,974 人(34.8%)であった。内訳は、男児 2,037 人(51.3%)、女児 1,937 人(48.7%)で、平均年齢は 9.4 歳であった。

現住所は、県内 2,885 人(72.6%)、県外 1,089 人(27.4%)であった。

## 1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 850 人(21.6%)、「良好」が 1,641 人(41.8%)、「普通」が 1,358 人(34.6%)、「悪い」が 75 人(1.9%)、「きわめて悪い」が 5 人(0.1%)であった。

## 2. お子様の現在の身長と体重について（問 2）

身長は、平均で 136.3cm であり、体重は、平均で 33.4kg であった。

男児の身長・体重の平均は、1 年生 121.8cm・24.3kg、2 年生 127.2cm・27.2kg、3 年生 132.5cm・31.0kg、4 年生 138.3cm・35.6kg、5 年生 144.1cm・38.8kg、6 年生 151.6cm・45.1kg であった。女児の身長・体重の平均は、1 年生 120.8cm・23.7kg、2 年生 125.9cm・25.7kg、3 年生 132.1cm・30.2kg、4 年生 138.7cm・34.2kg、5 年生 145.5cm・39.0kg、6 年生 150.7cm・43.6kg であった。

## 3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気は、「ない」が 2,552 人(66.2%)、「ある」が 1,304 人(33.8%)であった。

「ある」と回答した人の内訳は、表 7 のとおりであった。

## 4. 入院の経験について（問 4）

入院の経験は、「ない」が 2,529 人(64.6%)、「ある」が 1,388 人(35.4%)であった。

「ある」と回答した人の内訳は、表 8 のとおりであった。

表 7 治療中の病気の内訳

病名	人数
喘息	187
アレルギー性鼻炎	478
アトピー性皮膚炎	219
上記以外のアレルギー性疾患	86
風邪	128
インフルエンザ	38
中耳炎	47
副鼻腔炎	70
歯科疾患	258
てんかん	21
ADHD	44
その他	180

表 8 入院の経験の内訳

病名	人数
喘息	162
肺炎	416
マイコプラズマ肺炎	154
RS ウイルス感染症	122
風邪	101
気管支炎	168
インフルエンザ	141
胃腸炎	189
ロタウイルス感染症	96
熱性けいれん	138
川崎病	44
鼠径ヘルニア	76
その他	245

## 5. 検査の経験について（問5）

- 1) CT 検査の経験は、「ない」が 3,334 人(84.2%)、「ある」が 492 人(12.4%)、「わからない」が 136 人(3.4%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が 3,057 人(79.0%)、「ある」が 566 人(14.6%)、「わからない」が 246 人(6.4%)であった。  
「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が 481 人、「血管造影」が 34 人、「核医学検査」が 14 人であった。

## 6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 3,843 人(97.4%)、「ある」が 23 人(0.6%)、「わからない」が 79 人(2.0%)であった。

## 7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問7）

就寝時刻は、平均で午後 9 時 25 分であり、起床時刻は午前 6 時 20 分であった。睡眠時間は、平均で 8 時間 55 分であった。

## 8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が 261 人(6.6%)、「週に 2～4 回している」が 1,058 人(26.7%)、「週 1 回程度している」が 848 人(21.4%)、「ほとんどしていない」が 1,796 人(45.3%)であった。

## 9. 食生活について (問9)

食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度は、表9のとおりであった。

表9 の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
ごはん		17 (0.4%)	11 (0.3%)	35 (0.9%)	148 (3.7%)	438 (11.1%)	3,308 (83.6%)	3,957
パン		54 (1.4%)	672 (17.1%)	1,454 (36.9%)	958 (24.3%)	392 (9.9%)	411 (10.4%)	3,941
魚料理		60 (1.5%)	407 (10.4%)	1,904 (48.4%)	1,393 (35.4%)	124 (3.2%)	43 (1.1%)	3,931
肉類	とり肉	54 (1.4%)	653 (16.6%)	2,202 (56.2%)	907 (23.1%)	88 (2.2%)	18 (0.5%)	3,922
	牛肉、豚肉	42 (1.1%)	217 (5.5%)	1,626 (41.3%)	1,749 (44.5%)	244 (6.2%)	56 (1.4%)	3,934
	ハム、ソーセージ	66 (1.7%)	740 (18.9%)	1,814 (46.4%)	1,032 (26.4%)	182 (4.7%)	76 (1.9%)	3,910
野菜	緑の葉の野菜	124 (3.1%)	518 (13.1%)	1,369 (34.6%)	1,253 (31.7%)	383 (9.7%)	307 (7.8%)	3,954
	赤や黄色の野菜	82 (2.1%)	418 (10.6%)	1,314 (33.3%)	1,331 (33.7%)	466 (11.8%)	337 (8.5%)	3,948
	淡色野菜	76 (1.9%)	255 (6.5%)	1,006 (25.5%)	1,561 (39.7%)	604 (15.3%)	438 (11.1%)	3,940
	野菜ジュース	1,749 (44.5%)	1,064 (27.1%)	532 (13.5%)	290 (7.4%)	123 (3.1%)	172 (4.4%)	3,930
果物	くだもの	111 (2.8%)	577 (14.6%)	1,161 (29.4%)	1,035 (26.2%)	431 (10.9%)	634 (16.1%)	3,949
	果物ジュース	1,099 (27.9%)	1,222 (31.1%)	845 (21.4%)	455 (11.5%)	139 (3.5%)	182 (4.6%)	3,942
大豆	納豆	454 (11.5%)	1,119 (28.4%)	1,503 (38.1%)	596 (15.1%)	168 (4.3%)	104 (2.6%)	3,944
	味噌汁	63 (1.6%)	178 (4.5%)	455 (11.5%)	841 (21.3%)	816 (20.7%)	1,598 (40.4%)	3,951
	とうふ料理	137 (3.5%)	756 (19.1%)	1,621 (41.1%)	989 (25.0%)	298 (7.5%)	149 (3.8%)	3,950
	煮豆料理	1,649 (42.0%)	1,643 (41.9%)	498 (12.7%)	104 (2.6%)	21 (0.5%)	10 (0.3%)	3,925
牛乳		158 (4.0%)	110 (2.8%)	179 (4.6%)	276 (7.0%)	795 (20.2%)	2,415 (61.4%)	3,933
豆乳		3,242 (82.3%)	492 (12.5%)	110 (2.8%)	52 (1.3%)	15 (0.4%)	28 (0.7%)	3,939
ヨーグルト、乳酸菌飲料		131 (3.3%)	465 (11.8%)	1,083 (27.3%)	961 (24.3%)	503 (12.7%)	813 (20.6%)	3,956
朝食		30 (0.8%)	5 (0.1%)	27 (0.7%)	72 (1.8%)	105 (2.7%)	3,719 (93.9%)	3,958



### 10. 子どもの情緒と行動について（問9）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 3,967 人のうち、16 点<sup>※1</sup>以上が 627 人(15.8%)、20 点<sup>※2</sup>以上が 255 人(6.4%)であった(図 3)。平均総合得点は 9.7 点であった。

男児では有効回答 2,034 人のうち、16 点以上が 372 人(18.3%)、20 点以上が 158 人(7.8%)であり、女児では有効回答 1,933 人のうち、16 点以上が 255 人(13.2%)、20 点以上が 97 人(5.0%)であった(図 4)。平均総合得点は男児では 10.3 点、女児では 9.1 点であった。

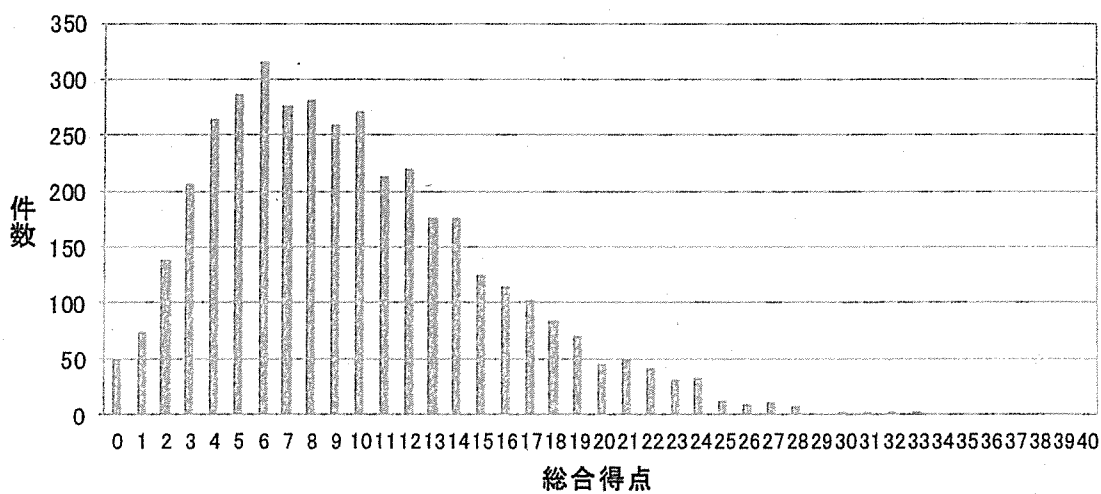


図 3 小学生の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

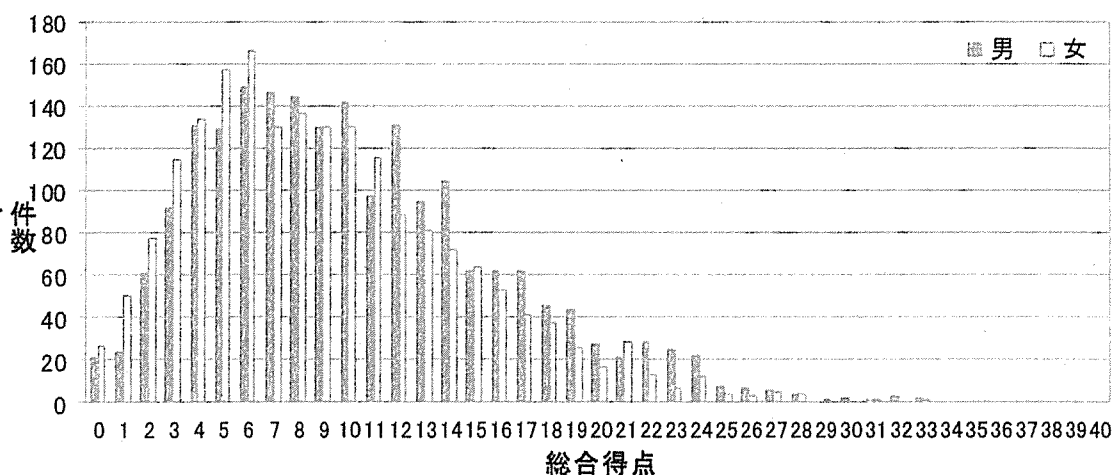


図 4 小学生の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 支援を行うために設けた基準

## 平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（中学生用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(中学生用)の対象 6,023 人のうち、有効回答は 1,796 人(29.8%)であった。内訳は、男子 891 人(49.6%)、女子 905 人(50.4%)で、平均年齢は 13.9 歳であった。

現住所は、県内 1,436 人(80.0%)、県外 360 人(20.0%)であった。

### 1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 323 人(26.9%)、「良好」が 406 人(33.8%)、「普通」が 428 人(35.5%)、「悪い」が 38 人(3.2%)、「きわめて悪い」が 7 人(0.6%)であった。

### 2. お子様の現在の身長と体重について（問 2）

身長は、平均で 159.6cm であり、体重は、平均で 52.0 kg であった。

男子の身長・体重の平均は、1 年生 158.4cm・50.4kg、2 年生 164.0cm・54.7kg、3 年生 168.3cm・58.6kg であった。女子の身長・体重の平均は、1 年生 154.6cm・47.9kg、2 年生 155.6cm・48.7kg、3 年生 157.0cm・51.7kg であった。

### 3. 睡眠について（問 3）

1) 睡眠時間は、平均で 7 時間 9 分であった。

2) 睡眠満足度は、「満足している」が 488 人(40.8%)、「少し不満」が 589 人(49.2%)、「かなり不満」が 120 人(10.0%)、「非常に不満か、全く眠れなかった」が 0 人(0.0%)であった。

### 4. 普段の運動量について（問 4）

運動(普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が 501 人(41.7%)、「週に 2~4 回している」が 206 人(17.1%)、「週 1 回程度している」が 80 人(6.6%)、「ほとんどしていない」が 417 人(34.6%)であった。

### 5. 食生活について (問5)

食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度は、表10のとおりであった。

表10 の食品(飲料)および朝食を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
ごはん		10 (0.8%)	11 (0.9%)	16 (1.3%)	50 (4.2%)	164 (13.6%)	953 (79.2%)	1,204
パン		60 (5.0%)	226 (19.0%)	462 (38.9%)	202 (17.0%)	107 (9.0%)	132 (11.1%)	1,189
魚料理		33 (2.8%)	153 (12.8%)	556 (46.6%)	380 (31.8%)	54 (4.5%)	18 (1.5%)	1,194
肉類	とり肉	27 (2.3%)	191 (16.1%)	648 (54.4%)	262 (22.1%)	46 (3.9%)	14 (1.2%)	1,188
	牛肉、豚肉	19 (1.6%)	90 (7.5%)	488 (40.9%)	457 (38.3%)	109 (9.1%)	31 (2.6%)	1,194
	ハム、ソーセージ	34 (2.9%)	261 (22.0%)	477 (40.2%)	294 (24.8%)	77 (6.5%)	43 (3.6%)	1,186
野菜	緑の葉の野菜	35 (2.9%)	137 (11.5%)	385 (32.2%)	341 (28.6%)	150 (12.6%)	146 (12.2%)	1,194
	赤や黄色の野菜	30 (2.5%)	124 (10.4%)	348 (29.0%)	375 (31.3%)	175 (14.6%)	146 (12.2%)	1,198
	淡色野菜	26 (2.2%)	70 (5.9%)	260 (21.8%)	411 (34.6%)	218 (18.3%)	205 (17.2%)	1,190
	野菜ジュース	550 (46.1%)	311 (26.0%)	145 (12.1%)	79 (6.6%)	53 (4.4%)	57 (4.8%)	1,195
果物	くだもの	65 (5.4%)	224 (18.7%)	335 (28.0%)	267 (22.3%)	134 (11.2%)	173 (14.4%)	1,198
	果物ジュース	321 (26.9%)	345 (28.9%)	230 (19.3%)	166 (13.9%)	62 (5.2%)	69 (5.8%)	1,193
大豆	納豆	245 (20.4%)	366 (30.5%)	348 (29.0%)	156 (13.0%)	52 (4.3%)	33 (2.8%)	1,200
	味噌汁	37 (3.1%)	68 (5.7%)	126 (10.5%)	240 (20.0%)	225 (18.8%)	504 (41.9%)	1,200
	とうふ料理	83 (6.9%)	203 (17.0%)	442 (37.0%)	319 (26.7%)	86 (7.2%)	62 (5.2%)	1,195
	煮豆料理	524 (44.0%)	443 (37.2%)	158 (13.3%)	49 (4.1%)	9 (0.8%)	7 (0.6%)	1,190
牛乳		108 (9.1%)	62 (5.2%)	60 (5.0%)	88 (7.4%)	281 (23.6%)	592 (49.7%)	1,191
豆乳		974 (81.9%)	141 (11.8%)	30 (2.5%)	17 (1.4%)	13 (1.1%)	16 (1.3%)	1,191
ヨーグルト、乳酸菌飲料		88 (7.3%)	204 (17.0%)	276 (23.1%)	223 (18.6%)	154 (12.9%)	253 (21.1%)	1,198
朝食		15 (1.3%)	6 (0.5%)	17 (1.4%)	21 (1.8%)	69 (5.8%)	1,070 (89.2%)	1,198

## 6. お子様震災で経験したことについて ※ 複数回答（問6）

震災にて経験したことは、「地震」が1,186人、「津波」が173人、「原子力発電所事故」が1,130人、「いずれもなし」が3人であった。

## 7. 治療中の病気について（問7）

治療中の病気は、「ない」が1,269人(72.1%)、「ある」が491人(27.9%)であった。

「ある」と回答した人の内訳は、表11のとおりであった。

## 8. 入院の経験について（問8）

入院の経験は、「ない」が1,174人(66.7%)、「ある」が586人(33.3%)であった。

「ある」と回答した人の内訳は、表12のとおりであった。

表11 治療中の病気の内訳

病名	人数
喘息	54
アレルギー性鼻炎	186
アトピー性皮膚炎	77
上記以外のアレルギー性疾患	42
風邪	34
インフルエンザ	16
中耳炎	8
副鼻腔炎	22
歯科疾患	110
てんかん	10
ADHD	19
その他	76

表12 入院の経験の内訳

病名	人数
喘息	90
肺炎	191
マイコプラズマ肺炎	55
RSウイルス感染症	8
風邪	60
気管支炎	75
インフルエンザ	67
胃腸炎	81
ロタウイルス感染症	26
熱性けいれん	48
川崎病	12
鼠径ヘルニア	40
その他	77

## 9. 検査の経験について（問9）

1) CT検査の経験は、「ない」が1,429人(80.5%)、「ある」が277人(15.6%)、「わからない」が69人(3.9%)であった。

2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が1,363人(78.1%)、「ある」が267人(15.3%)、「わからない」が115人(6.6%)であった。

「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が229人、「血管造影」が20人、「核医学検査」が2人であった。

## 10. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問10）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が1,727人(97.4%)、「ある」が9人(0.5%)、「わからない」が38人(2.1%)であった。

### 11. 子どもの情緒と行動について（問 11）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 1,785 人のうち、16 点<sup>※1</sup>以上が 228 人(12.8%)、20 点<sup>※2</sup>以上が 114 人(6.4%)であった(図 5)。平均総合得点は 8.8 点であった。

男子では有効回答 888 人のうち、16 点以上が 119 人(13.4%)、20 点以上が 62 人(7.0%)であり、女子では有効回答 897 人のうち、16 点以上が 109 人(12.2%)、20 点以上が 52 人(5.8%)であった(図 6)。平均総合得点は男子では 8.9 点、女子では 8.7 点であった。

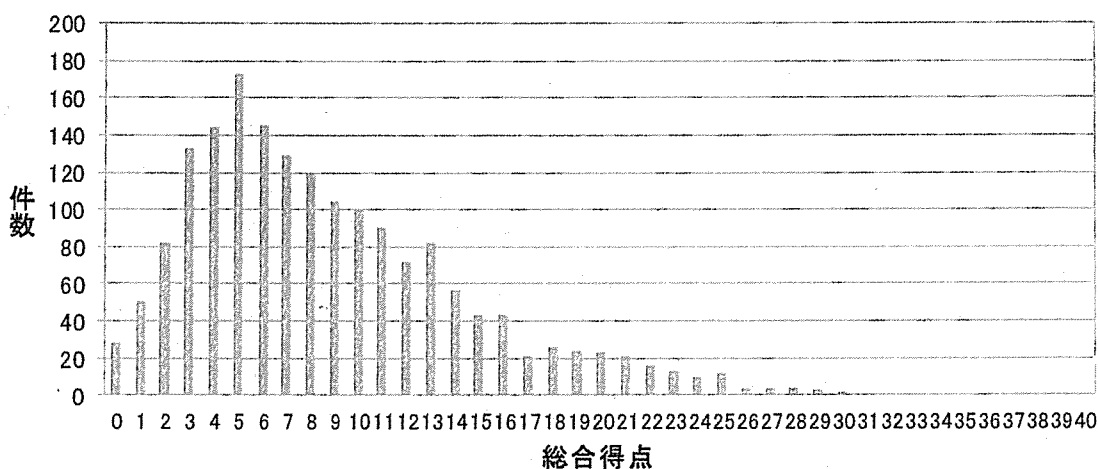


図 5 中学生用の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

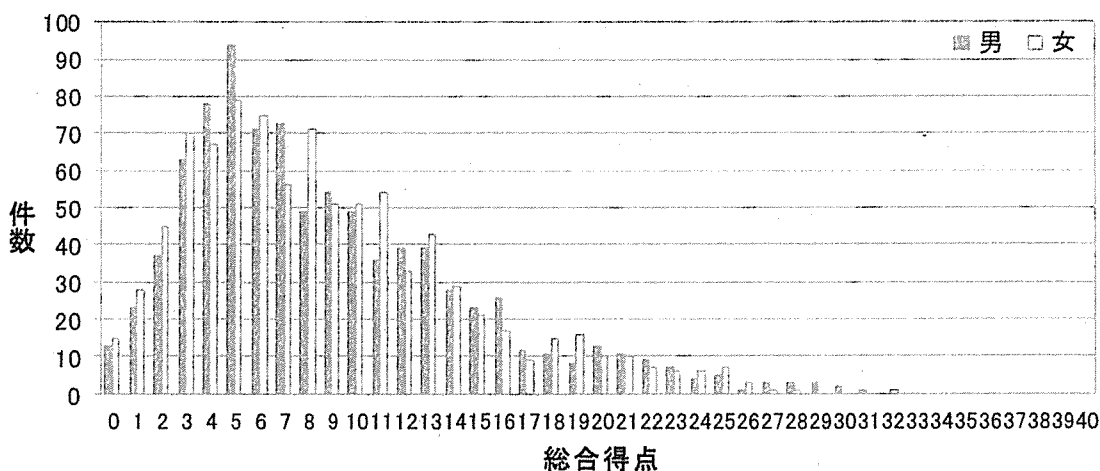


図 6 中学生用の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点:先行研究で示されている基準

※2 20 点:支援を行うために設けた基準

## 平成 24 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）の対象 184,507 人のうち、有効回答は 39,495 人（21.4%）であった。内訳は、男性 17,624 人（44.6%）、女性 21,871 人（55.4%）で、平均年齢は 59.0 歳であった。

現住所は、県内 31,965 人（80.9%）、県外 7,530 人（19.1%）であった。

### 1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 1,295 人（3.8%）、「良好」が 5,176 人（15.3%）、「普通」が 21,237 人（62.7%）、「悪い」が 5,656 人（16.7%）、「きわめて悪い」が 518 人（1.5%）であった。

### 2. 身長と体重について（問 2）

- 1) 身長は、平均で 159.3cm であり、体重は、平均で 59.8kg であった。BMI は 23.5 であった。BMI 18.5 未満は 2,198 人（6.3%）、18.5 以上 30 未満は 31,021 人（88.7%）、30 以上 40 未満は 1,670 人（4.8%）、40 以上は 79 人（0.2%）、であった。

男性の身長・体重の平均は、166.0cm・66.4kg であり、BMI の平均は、24.1 であった。

男性の BMI 18.5 未満は 611 人（3.8%）、18.5 以上 30 未満は 14,622 人（91.1%）、30 以上 40 未満は 792 人（4.9%）、40 以上は 30 人（0.2%）、であった。

女性の身長・体重の平均は、153.7cm・54.3kg であり、BMI の平均は、23.1 であった。

女性の BMI 18.5 未満は 1,587 人（8.4%）、18.5 以上 30 未満は 16,399 人（86.7%）、30 以上 40 未満は 878 人（4.6%）、40 以上は 49 人（0.3%）、であった。

- 2) 体重変化（平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災以前と比べて体重に変化はありましたか）は、「3Kg 以上増えた」が 9,188 人（24.1%）、「ほぼ変わらない（±3Kg 以内）」が 23,149 人（60.7%）、「3Kg 以上減った」が 5,790 人（15.2%）であった。

男性の体重変化は、「3Kg 以上増えた」が 4,091 人（23.9%）、「ほぼ変わらない（±3Kg 以内）」が 10,481 人（61.4%）、「3Kg 以上減った」が 2,510 人（14.7%）であった。

女性の体重変化は、「3Kg 以上増えた」が 5,097 人（24.2%）、「ほぼ変わらない（±3Kg 以内）」が 12,668 人（60.2%）、「3Kg 以上減った」が 3,280 人（15.6%）であった。

### 3. 既往歴について (問3)

既往歴(今まで、次のような病気にかかっていると医師に診断されたことがありますか)は、表13のとおりであった。

表13 一般用の傷病別の診断経験および通院状況(上段人数/下段割合)

傷病名	有効回答数	診断された経験		現在の通院状況	
		ない	ある	はい	いいえ
高血圧 (または、血圧が高い)	37,814	22,102 (58.4%)	15,712 (41.6%)	14,740 (81.9%)	3,250 (18.1%)
糖尿病 (または、血糖が高い)	37,055	32,184 (86.9%)	4,871 (13.1%)	4,532 (51.7%)	4,237 (48.3%)
高脂血症 (または、コレステロールや中性脂肪が高い)	37,113	24,736 (66.7%)	12,377 (33.3%)	8,423 (56.2%)	6,558 (43.8%)
がん (白血病やリンパ腫を含む)	37,594	35,571 (94.6%)	2,023 (5.4%)		
脳卒中	37,534	35,862 (95.5%)	1,672 (4.5%)		
(脳卒中の種類) 複数回答					
脳こうそく			1,383		
脳出血			282		
くも膜下出血			206		
その他			93		
わからない			411		
心臓病	37,411	33,711 (90.1%)	3,700 (9.9%)		
(心臓病の種類) 複数回答					
心筋梗塞			659		
狭心症			1,547		
その他			850		
わからない			811		
慢性肝炎	37,979	37,229 (98.0%)	750 (2.0%)		
(慢性肝炎の種類) 複数回答					
B型肝炎			216		
C型肝炎			293		
その他			187		
肺炎 (この10年くらいの間で)	38,073	36,679 (96.3%)	1,394 (3.7%)		
50歳以後の骨折 (震災時50歳以上の回答を集計)	27,017	23,826 (88.2%)	3,191 (11.8%)		
甲状腺疾患	37,894	36,712 (96.9%)	1,182 (3.1%)		
(甲状腺疾患種類)					
甲状腺機能亢進症(バセドウ病)			327		
甲状腺機能低下症			423		
その他			280		
精神疾患	37,775	34,945 (92.5%)	2,830 (7.5%)	2,275 (64.3%)	1,262 (35.7%)

#### 4. 検査の経験について（問 4）

- 1) CT 検査の経験は、「ない」が 19,130 人 (49.7%)、「ある」が 17,934 人 (46.6%)、「わからない」が 1,437 人 (3.7%) であった。
- 2) 透視検査の経験は、「ない」が 14,069 人 (36.7%)、「ある」が 23,459 人 (61.3%)、「わからない」が 779 人 (2.0%) であった。
- 3) その他、血管造影検査、核医学検査、PET 検査のいずれか経験は、「ない」が 30,824 人 (81.4%)、「ある」が 5,023 人 (13.3%)、「わからない」が 1,998 人 (5.3%) であった。  
「ある」と回答した人のうち、「血管造影検査」が 3,503 人、「核医学検査」が 448 人、「PET 検査」が 1,058 人であった。

#### 5. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 5）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 35,720 人 (93.3%)、「ある」が 1,274 人 (3.3%)、「わからない」が 1,315 人 (3.4%) であった。

#### 6. 日常生活機能について（問 6）

- 1) 日常生活機能(それぞれの行為について、ひとりでできるかどうかをお答えください)は、表 14 のとおりであった。

表 14 一般用の日常生活機能(人数(割合))

日常生活での行為	ひとりでできる	ひとりではできない	有効回答数
1. 介助なしに食事をする(食事のしたくは含まない)	38,414 (98.7%)	496 (1.3%)	38,910
2. 介助なしに衣服の着替えをする	38,044 (98.0%)	758 (2.0%)	38,802
3. 介助なしにトイレで用をたす	38,180 (98.4%)	620 (1.6%)	38,800
4. 日用品の買い物をする	36,436 (93.9%)	2,361 (6.1%)	38,797

- 2) レクリエーション活動(レクリエーション活動(カラオケやゲートボール等)や地域の仕事(お祭り等)へ参加することがありますか)は、「ない、めったにない」が 24,010 人 (62.1%)、「ときどき参加する」が 11,201 人 (29.0%)、「よく参加する」が 3,422 人 (8.9%) であった。

#### 7. 睡眠について（問 7）

- 1) 睡眠時間は、平均で 7 時間 1 分であった。
- 2) 睡眠満足度は、「満足している」が 12,812 人 (38.0%)、「少し不満」が 15,256 人 (45.2%)、「かなり不満」が 4,633 人 (13.7%)、「非常に不満か、全く眠れなかった」が 1,056 人 (3.1%) であった。
- 3) 睡眠に関する経験(以下の経験が少なくとも週 3 回以上ありましたか)は、表 15 のとおりであった。



表 15 一般用の睡眠に関する経験(人数(割合))

	ある	ない	有効回答数
1. 夜、床に入ってから寝つくまでの時間がかかる	15,279 (45.0%)	18,707(55.0%)	33,986
2. 夜間、睡眠途中で目が覚める	22,636 (66.3%)	11,492 (33.7%)	34,128
3. 希望する起床時刻より早く目覚め、それ以上眠れない	14,293 (42.6%)	19,275 (57.4%)	33,568
4. 総睡眠時間が不足する	12,055 (36.5%)	20,999 (63.5%)	33,054
5. 日中の気分がめいる	10,244 (31.2%)	22,625 (68.8%)	32,869
6. 日中の身体的および精神的な活動が低下する	11,157 (33.6%)	22,080 (66.4%)	33,237
7. 日中の眠気	16,552 (49.3%)	16,996 (50.7%)	33,548

### 8. 運動について (問 8)

運動は、「ほとんど毎日している」が 5,972 人(15.5%)、「週に 2~4 回している」が 8,726 人(22.7%)、「週 1 回程度している」が 6,014 人(15.6%)、「ほとんどしていない」が 17,728 人(46.2%)であった。

### 9. 笑う機会について (問 9)

笑う機会(普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか)は、「ほぼ毎日」が 10,757 人(27.7%)、「週に 1~5 回程度」が 15,335 人(39.5%)、「月に 1~3 回程度」が 7,593 人(19.6%)、「ほとんどない」が 5,127 人(13.2%)であった。

### 10. 喫煙について (問 10)

- 1) 震災以前の喫煙(平成 23 年 3 月 11 日の震災以前に、タバコを吸っていましたか?)は、「吸っていなかった」が 25,704 人(70.5%)、「吸っていた」が 10,739 人(29.5%)であった。
- 2) 喫煙(タバコ(紙巻きタバコ)を吸いますか?葉巻やパイプは除きます。)は、「吸ったことがない」が 18,045 人(56.0%)、「やめた」が 7,683 人(23.8%)、「吸っている」が 6,525 人(20.2%)であった。  
「吸っている」と回答した人のうち、平均 1 日本数は 16.7 本、平均喫煙年数は 28.2 年であった。
- 3) 受動喫煙(この 10 年ほどの間に、家庭や職場などで人が吸ったタバコの煙を吸わされることがありましたか?)は、「毎日」が 6,863 人(22.0%)、「週 4~5 日程度」が 2,878 人(9.2%)、「ときどき」が 11,201 人(36.0%)、「めったにない」が 10,213 人(32.8%)であった。